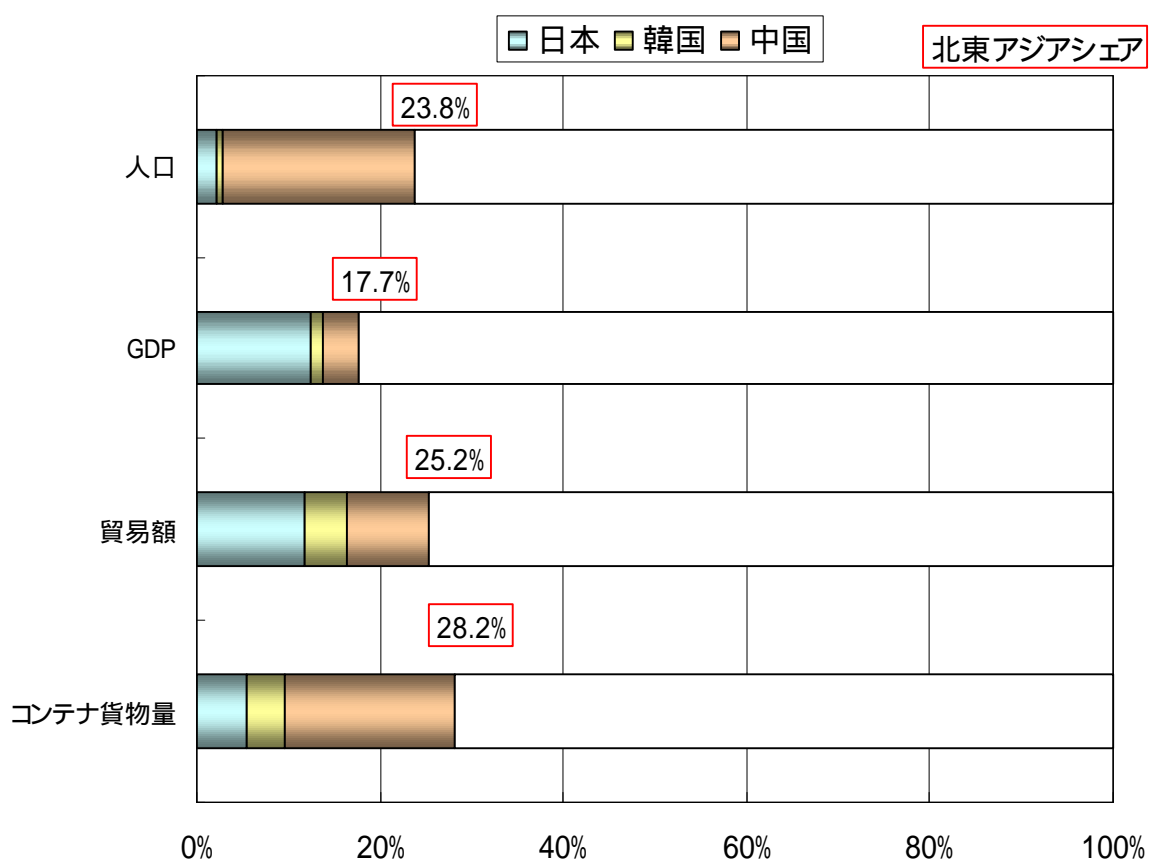


## 世界における北東アジアの位置付け (全世界に占めるシェア)

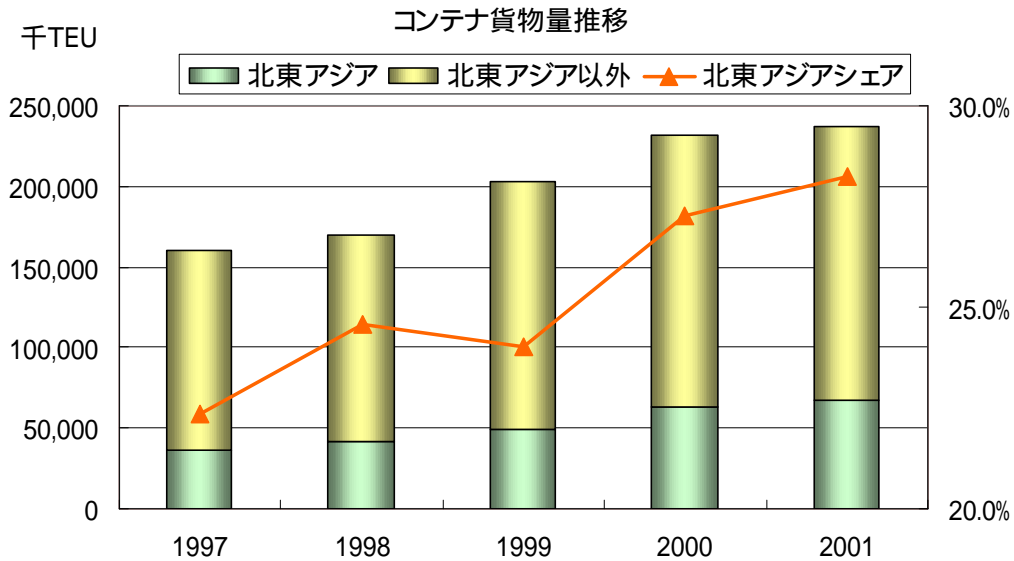
日本・韓国・中国で構成される北東アジア地域は、人口・GDP・貿易額・コンテナ貨物量において世界の約二割のシェアを占めている。



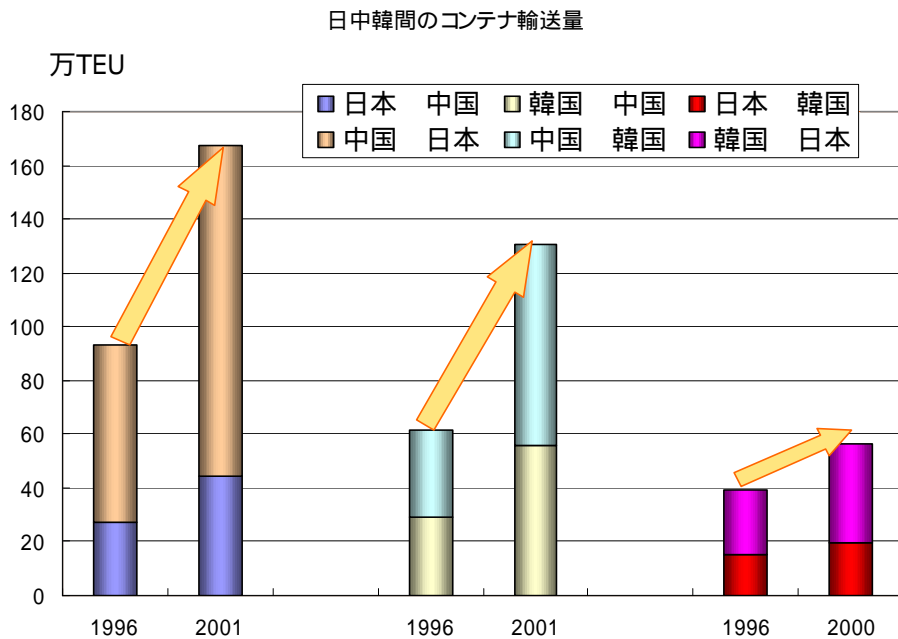
出典)人口(2001):World Population Prospects 2000(国連);International Financial Statistics 2002(IMF)等  
 GDP(2002):世界銀行  
 貿易額(2001):JETRO;IMF:"Direction of Trade Statistics Database June,2002"等  
 コンテナ貨物量(2001):Containerisation International

## 北東アジアにおけるコンテナ貨物の動向

北東アジア地域のコンテナ貨物量は急激に増加しており、世界でのシェアは、2001年時点で28%である。特に、日中韓間でのコンテナ輸送量が著しい増加傾向を示している。



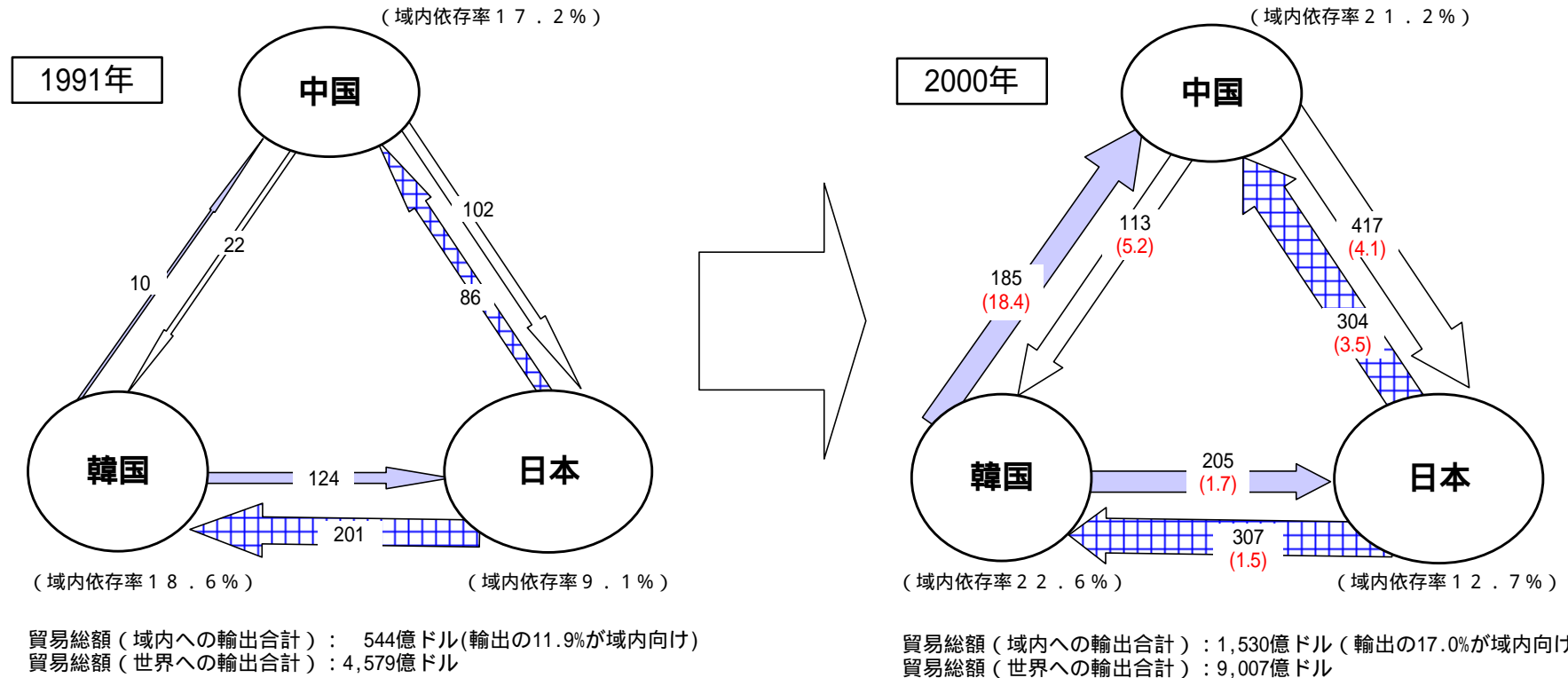
出典) Containerisation International Yearbook



出典) 国際輸送ハンドブック2003年版「オーシャンコマース」

## 北東アジア各国間の輸出動向（総額）

北東アジア各国間の輸出額は、最近10年で大幅に増加した。また、各国の域内依存率が上昇していることから北東アジア域内の経済活動の相互依存関係が深まっていることがわかる。



- (備考) 1. 中国には香港を含まない。  
2. 1991年の韓国と2000年の中国及び韓国は特別貿易の額である。  
3. 「域内依存率」は、総輸出額に占める北東アジア地域への輸出額の割合
- (資料) 「貿易統計年鑑」(国際連合)から作成。

(単位：億ドル)  
(カッコ内は1991年に対する倍率)